

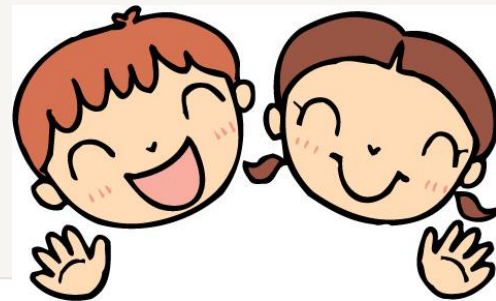
サマースクール



平成30年7月23日(月)~24日(火)

- 7月23日～24日の2日間（午前中）、今年度も恒例の「サマースクール」を開きました。

「サマースクール」は、聴覚に障害のある校外の小学生に対して、発音指導をしたり、聴覚支援（聴力測定など）を行ったりするもので、聾学校のセンター的な取組のひとつです。今年度は7月の西日本豪雨で聴力測定室が被災し、聴力測定はできませんでしたが、今年で22年目を迎え、16名の児童の参加がありました。



- 開講式の後、発音明瞭度検査で自分で、
の課題音を確認してから始めるので、
めあてをもって取り組むことができ
ていました。
- 口形や舌の使い方、息の出し方など
を視覚的な教材を使って練習する
うちに、正しい発音の方法で
るようになっていきまし
た。
- 初めは緊張していた児童も和やかな
雰囲気の中で練習するうちに緊張も
ほぐれ、担当の先生といろいろ話
しながらかく取り組むことが
たようです。

- 児童は2日間で30分の指導を5コマ行います。休み時間には久しぶりに会う友達と一緒に遊び、楽しそうでした。
- また、2日目の終わりの時間には新しい取組の高等部主催の「わくわくワークショップ」を行いました。総合デザイン科の生徒や先生に手伝ってもらいながら、木工作品やさおり織りのキーホルダー、アクセサリーを作る体験をしました。
- 保護者も両日共、1時間ずつの懇親会をもち、子どものことや情報交換等で話が盛り上がったようです。

・保護者の感想（アンケートによる）

子どもはサマースクールを楽しみにしており、懐かしい友達や先生方と交流して、小学校生活で緊張していた心もほぐれたようだった。

家ではいつもの発音に慣れてしまっているが、改めて検査をしてもらうと違いがよく分かり、気を付けるポイントを知ることができて毎年役立たせてもらっている。

卒業前と比べて発音明瞭度が落ちていた。口の動かし方や舌の使い方息の出し方などを復習してもらい、感覚を思い出したようだった。1日目終了後、家でストローを使って「さしすせそ」の練習を一生懸命していた。

子どもをよくほめ、視覚的な道具を積極的に活用してくださったので（一時的なものかも知れないが）すんなり言えるようになった。継続できるよう家庭でも気を付けることが大切だと思った。

サマースクール（発音指導）の様子



発音教材を使って息の出し方を練習しています。

口形に気を付け、聞き分けも取り入れながら、既習音を読んでいます。



わくわくワークショップの様子

